

①－５ 学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
スポーツ健康		文化・教養課程	スポーツ健康学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1800 単位時間 (健康スポーツ指導者コース)、	930 時間	270 時間	270 時間	0 時間	330 時間
		1740 単位時間 (スポーツマネジメントコース) 1770 単位時間 (メディカルトレーナーコース)	1800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		39 人	2 人	5 人	25 人	30 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

学科の人材育成像を踏まえ、以下のような知識・態度・能力を備えた学生をに対し、卒業を認定する。

- 1 スポーツ競技のレベルアップや効率的なトレーニングを指導できる人材。
- 2 スポーツの推進や運営に携わり地域の振興を支えていける人材。
- 3 スポーツを通じて人々の健康推進につなげることができる人材。

成績評価の基準・方法

（概要）

学生が履修した授業科目の成績の評価及びグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「G P」という。）は、下記の表のとおりとする。

【表】

評価		得点	G P
A	基準を超えて優秀である	8 0 点以上	3. 0
B	基準に十分達している	7 0 ～ 7 9 点	2. 0
C	単位を認める最低限の基準に達している	6 0 ～ 6 9 点	1. 0
D	基準を下回っている（不合格）	5 9 点以下	0. 0

（G P Aの算出）

G P Aは、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

$$G P A = \frac{(G P \times \text{時間数}) \text{の総和}}{\text{履修科目の総時間数}}$$

卒業・進級の認定基準

(概要) (1) 進級の要件 ア 授業科目の修得（単位の修得）の基準 未習得授業科目が<u>3科目以内</u>であること。 イ 各科目、欠席日数（公欠を除く）が授業日数の3分の1を超えていないこと。 ウ 特別な事情を除き学費を完納していること。 (2) 卒業の要件 ア 所定の修業年限以上在籍していること。 イ 教育課程に定める<u>履修授業科目を全て修得（単位を修得）</u>し、全課程を修了していること。 ウ 各科目、欠席日数（公欠を除く）が授業日数の3分の1を超えていないこと。 エ 学費を完納していること。
学修支援等
(概要) ・入学前のガイダンスにて学校全体の説明。 ・入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明。 ・就職支援部と協力した就職指導。 ・個別面談、保護者面談で学生の状況を把握。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	4 人 (33%)	6 人 (50%)	2 人 (17%)
(主な就職、業界等) スポーツ施設管理、スポーツ指導者、整体業界、一般事務			
(就職指導内容) 希望する企業へのインターンシップの依頼、就職セミナーの案内、個別に就職面談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本スポーツ協会指導者資格、健康運動実践指導者、調整療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40 人	4 人	10.0%
(中途退学の主な理由) 入学前に抱いていたイメージと実際とのミスマッチ		

(中退防止・中退者支援のための取組)
個人ガイダンス、保護者面談